

第 41 回櫻井健二郎氏記念賞表彰

第 41 回（2025 年度）櫻井健二郎氏記念賞は、光産業及び光技術の分野において先駆的役割を果たした 2015 年度以降の業績を対象に、複数の推薦応募の中から 2 件が受賞した。1 件目は、受賞題目「高性能液晶空間光変調器の開発と実用化への貢献」に対し浜松ホトニクス株式会社の永田幹夫氏、朝稲裕一氏、野沢直樹氏、福智昇央氏の 4 氏に、2 件目は、受賞題目「世界最高クラス出力・最小電力駆動超広帯域ラマン増幅器用励起光源の開発及び実用化」に対し古河電気工業株式会社の吉田順自氏、若葉昌布氏、北條直也氏、伊藤宏和氏の 4 氏に、それぞれ授与された。



荒川委員長 第 41 回櫻井健二郎氏記念賞選考経過報告



浜松ホトニクス株式会社
野沢直樹氏、福智昇央氏、永田幹夫氏、朝稲裕一氏 若葉昌布氏、吉田順自氏、北條直也氏、伊藤宏和氏
第 41 回櫻井健二郎氏記念賞受賞者



古河電気工業株式会社

本賞は、当協会の理事であった故櫻井健二郎氏が光産業の振興に果たした功績を讃えると共に、光産業及び技術の振興と啓発を図ることを目的として創設したもので、今回の表彰を含め、合計 75 件、延べ 190 名が受賞している。

今年度は、光産業技術の分野において先駆的役割を果たした 2015 年度以降の業績を対象に、複数の応募の中から厳正な審査により選考された（委員会名簿参照 <https://www.oitda.or.jp/sakurai/>）。

上記の表彰は、2026 年 2 月 24 日にリーガロイヤルホテル東京で開催された 2025 年度光産業技術シンポジウムの終了後、同会場にて行われた。

櫻井健二郎氏記念賞委員会の荒川泰彦委員長（東京大学名誉教授）による選考経過報告の後、表彰状、メダル、副賞が受賞者に手渡され、その後、受賞者を代表して、永田幹夫氏、吉田順自氏から謝辞が述べられた。

受賞題目 1：高性能液晶空間光変調器の開発と実用化への貢献
受賞者：浜松ホトニクス株式会社 レーザー事業部 管理部 部長 永田幹夫氏 レーザー事業部 企画設計部 チームリーダー 朝稲裕一氏 レーザー事業部 製造部 チームリーダー 野沢直樹氏 レーザー事業部 企画設計部 副部長 福智昇央氏
受賞理由： シリコン基板型液晶空間光変調器（LCOS-SLM）は光の位相を高速・高精度に制御できるが、高出力光の利用には耐熱性が課題だった。受賞者らは材料と内部構造を最適化し耐熱性を大幅に向上させ、高出力レーザーの安定制御を実現した。これによりレーザー加工や 3D プリンターなどへの応用が拡大し、特に半導体ウエハを非接触で加工するステルスダイシングでは、加工精度と速度の向上に貢献している。この成果は先端半導体製造技術の高度化に寄与する重要な業績である。

受賞題目 2：世界最高クラス出力・最小電力駆動超広帯域ラマン増幅器用励起光源の開発及び実用化
受賞者：古河電気工業株式会社 情報通信ソリューション統括部門 次世代フォトニクス事業創造プロジェクトチーム 主幹 吉田順自氏 情報通信ソリューション統括部門 先進融合デバイス技術部 主査 若葉昌布氏 古河ファイテルオプティカルデバイス株式会社 技術統括部設計開発部 事幹 北條直也氏 Furukawa FITEL Thailand, Active Department, Assistant General Manager 伊藤宏和氏
受賞理由： AI や 5G の発展により通信網の大容量化が急務となり、長距離伝送には光増幅が不可欠である。受賞者らは多層 InGaAsP/InP を用いた非対称導波構造により、高出力・高効率のファイバラマン増幅器用励起レーザーを世界に先駆けて実用化し、ラマン増幅の利得を大幅に向上させた。その市場シェアは 30% を超え、S 帯から U 帯まで広い波長域で利用可能であり、光産業と通信インフラの発展に大きく貢献している。